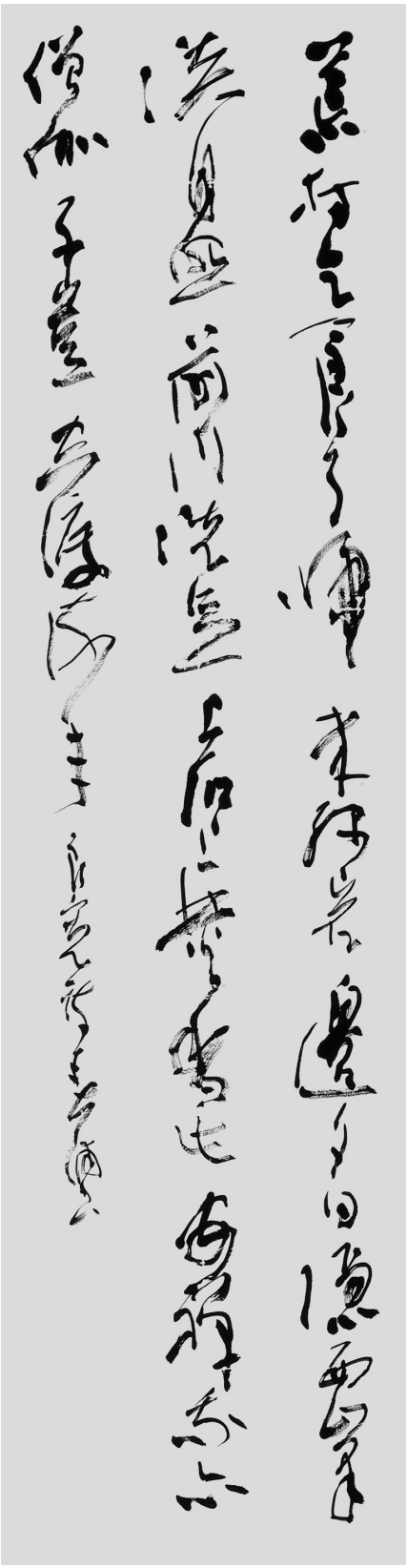


条幅部自由参考

5月27日正午必着

明石春浦先生書



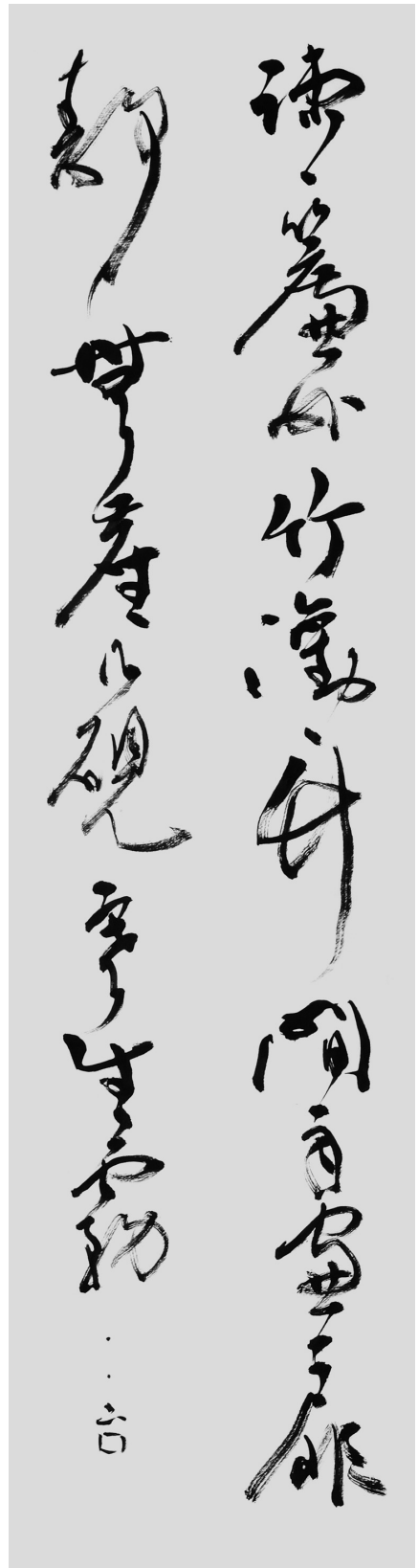
荒村乞食こうそんしきをこひおわり 歸來綠岩邊かえりきたるりよくがんのほとり 淡月照前川たんげつせんぜんをてらす
 洗足上石上あしをあらってせきじょう上のほり 焚香此安禪こうをたいてこにあんぜん 豈空渡流年あにむなしくるねんわたらんや (良寛)
 我亦僧伽子われもたげうまし 夕日隱西峯せきじつさいほうにかくれ 坐禪する。わたしも出家の身であれば むたに月日を送られぬ。

明石幸子書



燕語三簾櫳つばめんごう記かなる (劉禹錫)

雨後人散じた後の光景



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

疎簾外竹
 濼濼竹間雨
 窓扉静無塵
 几硯寒生霧

(蘇軾)

疎々として雨は簾外の竹にふりそゞぎ濼々として風は竹間の雨を吹き去り、窓は静かで塵なく、机上の硯には霧が生じている。

山水娛人歳月長 (葉適)

山水人を娯ませて歳月長し

山水はいつも人をたのしませる。

相送臨高臺 川原杳何極
日暮飛鳥還 行人去不息

(王維)

相送りて高台に臨めば 川原杳として何ぞ極まらん
 日暮 飛鳥還るに 行人は去って息まず

林館避暑

(羊士諤)

林館に暑を避く

羊士諤

池島清陰裏 無人泛酒船

池島 清陰の裏 人の酒船を泛ぶるもの無し

山蛭金奏響 花露水精圓

山蛭 金奏響き 花露水精円かなり

靜勝朝還暮 幽觀白已玄

静勝 朝還た暮 幽観 白己に玄

家山正如此 何不賦歸田

家山 正如此の如し 何ぞ帰田を賦せざる

隅田川堤に立ちて 船待てば 水上遠く 鳴くほととぎす

(加藤千蔭)

半紙部規定課題A

5月27日正午必着

止 王
游 孫
舊

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月27日正午必着

行書

王孫舊
此游

隸書

王孫舊
此游

明石春浦先生書

王孫舊
此游

王孫舊
此游

草書

行草書

いにしえの偉人が一飯の恩義に感じ入ったという そのことはもはや千年のむかし
年古りた墓は、樵人たちが知っているだけ かの時のままにここ楚の地の水は流れる
行きずりの旅人が水際の蘋草を摘んで供え 杜鵑は山中の樹木に悲しく啼く
春の草は年ごとに緑に茂る かの貴公子がかつて遊んだこの地に

漂母墓

劉長卿

昔賢懷一飯

茲事已千秋

古墓樵人識

前朝楚水流

渚蘋行客薦

山木杜鵑愁

春草年年綠

王孫舊此游

漂母の墓

劉長卿

昔賢一飯を懐く

茲の事 已に千秋

古墓 樵人識り

前朝 楚水流る

渚蘋 行客薦め

山木 杜鵑愁う

春草 年年緑なり

王孫 舊此に遊ぶ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

5月27日正午必着



舊都餘化詩人（詠）



歸來洙泗。用行舍藏徵拜議郎。遷大醫令京兆尹。舊都餘化詩人詠。漢衡方碑。遲鴻殘字楊峴。

三浦士岳先生臨書

清楊峴・臨衡方碑軸

楊峴（二八一九〜一八九六）は清代末期の書家で学者。字は見山、庸齋・藐翁などと号した。浙江省帰安の人で、咸豐五年（一八五五）に挙人の称号を与えられ、江蘇省常州・松江府知事にたった。幼少より詩文を学び、晩年は官を去り、読書、詩書の生活を送った。

楊峴の書は、六十歳までは曹全碑をベースに柔軟な線を多用し、あまり波磔を強調しない特徴があったとされているが、六十歳を過ぎた頃から漢隸の典型とされる礼器碑・乙瑛碑などを主とした強烈に誇張した波磔の隸書の完成へと至ったといわれ、特に礼器碑に没頭し、適麗で変化に富んだ筆致をもって一家を成し、清代の北碑派に個性的で新しい書風を開いたといわれている。

※令和三年、玄和三・四月号掲載の古典と比較、研究してみ
るのも良いかと…。（春濤）



圖南 (「莊子」逍遙遊)

鵬が南のはての海を目指して飛ぼうとすることから、大事業を計画すること。

△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



遷大醫令京兆尹。舊都餘化詩人詠。

5月27日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

き
記

ろく
録

中学一年



菅井松雲先生書

りゅう
隆

せい
盛

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



じゅん
順

じょ
序

小学五年

榎戸春龍先生書



のう
農

か
家

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月27日正午必着



さん
山

りん
林

小学三年

藤田幸春先生書



なか
中

にわ
庭

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

し お 小学一年・幼年



森戸春濤書

お ^{こめ}米 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

人は自然のめぐみに
たよって生きている

小学五年

南十字星の見える
オーストラリアの海

小学六年

人生は愛にしてその
生命は精神なり

中学

子供の日にさよなかなお祝
いを催したいと存じます

一般(級位)

住の江の岸に寄る波よるさへや
夢の通ひ路人目よくらむ

住の江の岸に寄る波よるさへや夢の通ひ路人目よくらむ(藤原敏行)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	こ
な	れ
で	は
す	
	ば
	ら
	の

幼 年

だ	赤
つ	ち
こ	や
し	ん
ま	ね
し	こ
た	を

小学一年

を	五
か	月
ざ	に
り	ん
ま	ぎ
し	よ
た	う

小学二年

り	天
が	高
泳	く
い	こ
で	い
い	の
る	ぼ

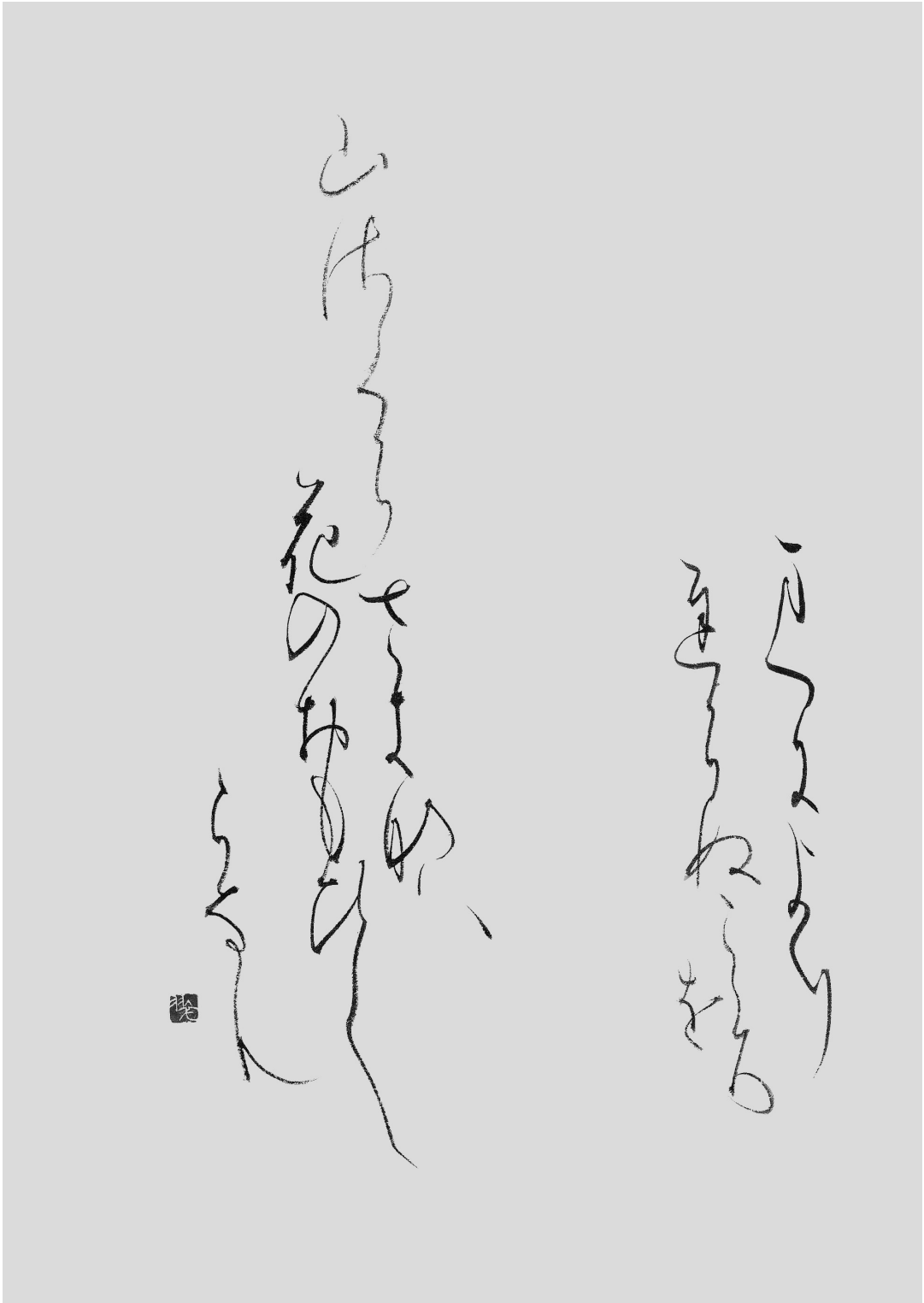
小学三年

な	花
が	び
ら	ら
池	が
にお	風
ち	に
た	ま
	い

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



まつにより
万 尔
遅
ちらぬころを
山ざくら
佐
さきなば花の
支那八
おもひしらなん
奈
(西行法師・山家集)

松永翠舟先生書